

## 福島イノベーションセンターの取り組み

アクセンチュア株式会社  
公共サービス・医療健康本部  
エグゼクティブ・パートナー 後藤 浩

### 1. 弊社の福島におけるこれまでの取り組み

- 会津若松市、会津大学および弊社の3者で、福島県の復興に向けた産業振興と雇用創出の構想策定を共同実施することを定めた協定を平成23年7月に締結
- 弊社は福島県会津若松市に「福島イノベーションセンター」を平成23年8月1日に開設し、弊社スタッフが常駐して県内各所と連携した検討を実施中
- ITに関して国内屈指の教育研究機関である会津大学と、ITサービスをグローバルで展開するアクセンチュアの協業により、ITを活用した福島県全体の復興支援を推進

### 2. 福島における震災アーカイブ事業について

- 福島県は平成23年11月10日から震災関連資料の収集を開始
- 県文化振興課が窓口となり、実際の収集業務は福島県歴史資料館に委託する形で資料収集を実施
- 資料の散逸を防ぐことが主眼であり、現物資料の迅速な収集に特化
- 会津若松市、会津大学および弊社の3者で、震災関連資料の保存におけるIT基盤の整備に着手
- 福島県全体のデジタル資料を対象としてIT基盤を整備する構想であり、収集は県、デジタル保存は本取り組みとして役割分担を定義
- 福島県歴史資料館が収集した震災関連資料のデジタル化も実施
- SNSやスマートフォンアプリ等を通じた収集ルートを構築し、福島県内の個人・団体から円滑にデジタル資料を収集できる仕組みを整備
- 物理的な震災関連資料は福島県歴史資料館、あるいは将来的に浜通りでの設置が見込まれる震災復興記念館での保存・活用を想定しており、デジタル資料のデータのみ会津大学のデータセンターで福島県全体分を一元的に保存
- IT基盤においては、総務省・国会図書館による「東日本大震災アーカイブ」との統合検索・相互利用を可能にするデータ連携を担保
- 個人からの資料収集のインセンティブとするため、収集したデジタル資料を福島民友・福島民報と連携してWebで発信する企画を構想

以上